

教育次長	参事	教育次長補佐	係長	係

(金抜設計書)

令和8年度 仁淀川町池川スポーツセンター 池川体育館雨樋等改修工事 実施設計書

工事期間 令和8年7月1日から令和8年9月30日まで(92日間)

仁淀川町

金 円

(工事価格 金 円)

(種目別内訳)

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
I	(直接工事費)						
A	建築工事(雨樋・防水シート等)		1.0	式			
B	建築工事(事務室・2階ホール修繕等)		1.0	式			
	計						
II	(共通費)						
	共通仮設費		1.0	式			
	現場管理費		1.0	式			
	一般管理費等		1.0	式			
	計						
	合計						
	改め合計(工事価格)						
	消費税等相当額		1.0	式			
	総合計(工事費)						

(細目別内訳)

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	躯体						
	(型枠)						
	普通型枠		2.1	m ²			
	型枠運搬費		2.1	m ²			
	(鉄筋)						
	異形棒筋	S D295A D10	12.0	k g			
	スクラップ控除		0.4	k g			
	鉄筋加工組立費		11.6	k g			
	鉄筋運搬費		11.6	k g			
	金属系拡張アンカー	下向き D10L400 (鉄筋付き)	16.0	本			
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	F C=21 S L=18	0.3	m ³			
	コンクリート打設手間		0.3	m ³			
	目荒し	下向き	0.5	m ²			
	計						

(細目別内訳)

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	防水						
	水洗い清掃	屋上・庇天端・箱樋内・竖樋内等 加水圧10～30Mpa程度	450.0	m ²			
	塩ビシート防水	平場 S-M2 厚1.5 (機械固定工法) 下地調整共	302.0	m ²			
	塩ビシート防水	立上り S-F2 厚1.5 (密着工法) 下地調整塗り共	34.6	m ²			
	塩ビ被覆鋼板	取合い部 幅50	87.4	m			
	防水押え金物	立上り上部 アルミ 10×40 厚1.5	87.4	m			
	ステンレス脱気筒	防水メーカー仕様	4.0	か所			
	ウレタン塗膜防水	平場 X-2 (密着工法) 下地調整塗り共	72.3	m ²			
	ウレタン塗膜防水	立上り X-2 (密着工法) 下地調整塗り共	29.9	m ²			
	改修用ルーフドレン	Φ100用	8.0	か所			
	シーリング	防水取合い MS-2 15×10程度	195.0	m			
	シーリング	防水取合い MS-2 10×10程度 ブリッジ	4.1	m			
	シーリング	折版と軒樋の隙間 MS-2 50×25程度 断熱材50×100詰め共	71.0	m			
	計						

(細目別内訳)

記号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	解体撤去						
	カッター入れ	屋上 コンクリートスラブ面 厚120	2.8	m			
	カッター入れ	屋上 パーライトモルタル面 厚75	4.2	m			
	カッター入れ	屋上 防水シート面	87.5	m			
	鉄筋コンクリート撤去	屋上 点検口立上り部	0.3	m ³			
	パーライトモルタル撤去	屋上 厚75	0.6	m ²			
	モルタル撤去	屋上 厚25	1.2	m ²			
	モルタル撤去	屋上 厚30	0.9	m ²			
	加硫ゴムシート撤去	屋上 厚1.2	34.9	m ²			
	防水押え金物撤去	屋上 アルミ 10×40	86.0	m			
	シーリング撤去	屋上・庇 15×10	198.0	m			
	鑄鉄製ドレイン撤去	Φ100用	8.0	か所			
	縦樋一部撤去（内部清掃のため）	硬質塩ビ管 Φ100 L500（32か所）64か所切断共	1.0	式			
	屋上マンホール蓋撤去	Φ746 厚1.6 亜鉛メッキ処理鋼板	1.0	か所			
	（運搬積込費）						
	コンクリート類		0.3	m ³			
	廃プラスチック類		0.2	m ³			

令和8年度 仁淀川町池川スポーツセンター

池川体育館雨樋等改修工事

仁淀川町

A 建築工事（雨樋・防水シート等）

特記仕様書（建築改修工事編）

- I 工事概要
1. 工事場所 吾川郡仁淀川町土居甲835 (都市計画区域 内(外))
2. 構造・規模 RC造 2階 一部鉄骨造
3. 建築面積 1422.51 m2
4. 延床面積 1880.65 m2
5. 主要用途 体育館
II 建築改修工事仕様
1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標準仕様書」という）により、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という）による。
(2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事それぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備改修工事の仕様書は()図、機械設備改修工事の仕様書は()図による。
(3) 受注者は完了検査（中間検査を含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な書類等（報告書等）を用意すること。
2. 特記仕様
(1) 項目は、○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) [G]印は、「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。判断基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。
(6) 標準仕様書又は改修標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守[1.1.13]の規定を優先する。

1 各章共通事項
○適用基準及び区分
※ 建築工事監理指針（上下巻） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）
※ 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）
※ 鉄骨設計標準図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修
※ 鉄骨工事技術指針 工場製作編 工事現場施工編 日本建築学会
※ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事等編）
※ 建設副産物適正処理推進要綱
※ 建築材料等評価名簿 国土交通大臣官房官庁営繕部監修
※ 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 国土交通大臣官房官庁営繕部監修
※ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。
区分等 基準風速 Vo=()m/s 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)
積雪区分 建設省告示第1455号 別表()

○電気保安技術者
・適用する ○適用しない [1.3.3]
○施工条件
施工時間帯 ※指定なし○指定有り（音のする工事は、施設に配慮すること） [1.3.5]
部位別の施工順序 ※指定なし○指定有り（同上）○工期（2.5か月）厳守
○本工事は週休2日対象工事とする（通期）
○発生材の処理
・引き渡しを要するもの() [1.3.12]
・特定管理産業廃棄物（種類： 処理方法： ）
・現場において再利用を図るもの()
○再生資源化を図るもの(○)コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材
※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。

○材料の品質等 [1.4.2]
本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする
1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
3) 安定的な供給が可能であること
4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること
5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品及び同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受けること。
製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木材の合法性の確認について（通知）」による証明書等を、監督職員に提出する。

○石綿含有建材の調査 [1.5.1]
調査
※ 石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
貸与資料()
・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

Table with columns: 分析方法, 材料名, 定性分析, 定量分析, サンプル数, 調査項目, 調査範囲, 調査方法, 既存部分の破壊, 技能士, 工事種目, 技能検定職種, 技能検定作業の種別, 仮設工事, 防水改修工事, 外壁改修工事, 建具改修工事, 内装改修工事, 環境配慮改修工事, 室内空気中の化学物質の濃度測定, 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策, 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること, 測定対象室及び測定箇所数 ※図示(仕上表備考欄) ()か所, ※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物(VOC)の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。対象建築材料等 使用制限, ①合板、木質フローリング、構造用合板、集成材、単板積層板、MDF、パーティクルボード、ウレタン樹脂板、壁紙、繊維材、断熱材、仕上り塗材 F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする, ②塗料 ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする。クロルピリリス、グイゾノ、フェノール系を含有しない、非有機シリコン系薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後現場搬入する, ③木材保存剤(防霉処理、防蟻処理等) 1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする 2)フェノール系、クロルピリリス、グイゾノ、フェノール系を含有しない難燃性の可塑剤を使用しているものとする, ④内装用接着剤、木工用接着剤, ⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台 ①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆は同等品を使用する, 室内に関わる材料は(上記①～⑤及び建具、珪藻土、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フェノール系、フェノール系-2-エチルベンゼン、クロルピリリス、グイゾノ、フェノール系の有無または成分について一覽表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

Table with columns: 完成時の提出図書, 区分, 分類規格, 提出部数, 部数, 着工前及び工事中, カラー ※サービス版, 1部, カラー ※キャビネ版, 1部, 完成時, カラー ・全紙版(74mm縦線入), 1部, 工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。デジタル写真の仕様は1)適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる。※上記の他、完成写真内外6面程度(カラーサービス版)、及びその画像データを完成検査時に1部提出する。※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。・行う(内容) ※行わない ○施工図及び施工計画書 ○設備工事との取り合い ○撤去部分 ○足場等 [2.2.1] 足場を設ける場合、改修標準仕様書2.2.1によるほか、設置においては、「手すり先行工法に関するガイドライン」別紙1(手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準)における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。外部足場に設ける防護シート等 ・養生シート※JISA8952のI類に適合するもの(建築工事用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの) ・防音シート ・探光防音シート ○養生ネット ・屋上以外の外部足場廻りは侵入防止用ガードフェンスを設置する [2.3.1] 既存部分の養生方法 ※ビニール等 () 既存家具等の養生方法 ※ビニール等 () 既存ブライド、カーペット等の養生方法及び保管場所 ・図示() 固定された備品、机・ロッカー等の移動 ・行う(図示:) [2.3.2][表2.3.1] 仮設間仕切り等の種別 [2.3.2][表2.3.1] 種別 下地 仕上材(厚さ mm) 充てん材 塗装 厚さ mm ・A種 ・木下地 ※せつこうボード(※9.5 ()) ※軽量鉄骨 ・合板 (※9.0 ()) ※無し ・片面 ・B種 ・木下地 ※せつこうボード(※9.5 ()) ※軽量鉄骨 ・合板 (※9.0 ()) ※無し ・片面 ・C種 単管下地 防炎シート ※木製扉 ※合板張り程度 ※無し ・鋼製扉 ※片面フラッシュ程度 ・有り [2.4.1] ・設ける ・構内に新設する(規模及び仕上りの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は現場説明書(施工条件明示)による) ・既存建物内の一部を使用する(場所) ※設けない ○工事用水 構内既存の施設 ※利用できる(※有償 ・無償) ・利用できない ○工事用電力 構内既存の施設 ※利用できる(※有償 ・無償) ・利用できない

3 防水改修工事

○降雨等に対する養生方法(とい共)

※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)~(9)による ()

○既存防水の処理

既存保護層の撤去 行う (範囲 図示) [3.2.3、4、6]
 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示)
 立上り部の防水層撤去 行う (POS・POS1・M4S・M4S1・S4S・S4S1)
 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 行う (M4AS・M4AS1・M4C・M4D1・L4X)

○既存下地の処理

○7x7x7防水

既存下地の補修箇所、範囲、数量等 図示 () [3.2.6]
 押え金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0 (mm) () [3.3.2]

屋根保護防水 [3.3.2~5][表3.1.1][表3.3.3~6]

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			※ポリイソシアネート 厚さ0.15mm以上 又はフラットシート 70g/㎡程度	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え
・P1B	・B-1 ・B-2				
・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		厚さ 25mm	※フラットシート 70g/㎡程度	
・P1BI	・BI-1				
・T1BI	・BI-2				

屋根露出防水 [3.3.2~3][表3.1.1][表3.3.7~9]

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	備考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			
・M3D	・D-1			脱気装置 設ける
・P0D	・D-2			改修用ドレン 設ける
・P0DI	・DI-1		種類	脱気装置 設ける
・M3DI	・DI-2		厚さ 25mm	改修用ドレン 設ける
・M4DI				

脱気装置の種類及び設置数量 ※7x7x7防水の製造所の指定による (種類: 数量 個/㎡)
 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、M-7ドレン周りに及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 () 図示

屋内防水 [3.3.2~3、5][表3.1.1][表3.3.10]

工法	種別	施工箇所	備考
・P1E	・E-1 (工程3 行う)		保護層 設ける
・P2E	・E-2		

屋上排水溝 適用する

改質7x7x7シート防水 [3.4.2、3]

工法	種別	施工箇所	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1		脱気装置 設ける 設けない 改修用ドレン 設ける 設けない
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		脱気装置 設ける 設けない 改修用ドレン 設ける 設けない
・M3ASI	・ASI-T1		脱気装置 設ける 設けない
・M4ASI			改修用ドレン 設ける 設けない
・POASI	・ASI-J1		防湿層 設ける 設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
 ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による ()
 脱気装置の種類及び設置数量
 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による (種類 () 設置数量 () 個)
 押え金物 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0 (mm)程度 ()
 断熱材 [G] (ASI-T1、ASI-J1の場合) 種類 () 厚さ 25mm ()
 仕上塗料
 種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による ()
 使用量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による ()
 高日射反射率防水の適用 [G] 適用する

○モルタル塗り [6.15.3、5、6]

モルタル ○現場調合材料 既調合材料
 既製目地材 使用する (施工箇所: 形状: ※図示)
 床の目地 設ける (工法 ※押し目地)
 目地割り ※2㎡程度 (最大目地間隔3m程度) ()
 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の地下処理 ※図示

○合成高分子系ルーフィングシート防水

絶縁用シート ※発泡ポリエチレンシート () [3.5.2]
 断熱材 [G] (SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) 種類 () 厚さ 25mm () [3.5.2~3][表3.1.1][表3.5.1~2]

工法	種別	施工箇所	厚さ (mm)	分類	仕上塗料	備考
○POS	・S-F1		※1.2	※非歩行	○カラー	脱気装置
・S4S	○S-F2	立上り	※2.0	○1.5	シルバー	改修用ドレン 設ける
	・S-M1		※1.5			
	○S-M2	平場	※1.5			脱気装置 設ける
・S3S	・S-F1		※1.2	※非歩行	・カラー	脱気装置 設ける
	・S-F2		※2.0	・軽歩行	・シルバー	
・M4S	・S-M1		※1.5	※非歩行	・カラー	脱気装置 設ける
	・S-M2		※1.5	・軽歩行	・シルバー	
・POSI	・SI-F1		※1.2	※非歩行	・カラー	脱気装置 設ける
・S3SI	・SI-F2		※2.0	・軽歩行	・シルバー	
・S4SI	・SI-M1		※1.5			
・M4SI	・SI-M2		※1.5			

○脱気装置の種類及び設置数量やシート取付部材、改修用ドレン等はルーフィングシートの製造所の指定による
 既存目地処理 行う (工法 既存目地専用ゴム撤去後シーリング詰め)
 防湿用フィルムの設置 (SI-M1、SI-M2の場合) 適用する
 屋内防水 [表3.5.3]

工法	種別	施工箇所	備考
屋内保護	・S-C1		工程4のモルタルの塗厚 mm

既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合 (接着工法) [3.5.4]
 目地処理 行う (工法)
 増張り 行う (S-F1、SI-F1の場合)

[3.6.2、3][表3.1.1][表3.6.1~3]

工法	種別	施工箇所	備考
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		脱気装置 設ける 改修用ドレン 設ける
○L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H	図示パラペットや庇等	脱気装置 設ける
・P1Y	※Y-2		保護層 保護モルタル ()
・P2Y	※Y-2		保護層 保護モルタル ()

脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の指定による (種類: 数量 個/㎡)

○シーリング [3.1.4][3.7.2、3、7、8]

シーリング改修工法の種類
 ○シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法
 ・拡張シーリング再充填工法 ○ブリッジ工法
 シーリング材の種類、施工箇所
 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)
シート防水端部	MS-2 (15×10)
シート防水端部 (屋上点検口廻り)	MS-2 (10×10) ブリッジ
軒樋取合い	MS-2 (50×25) ボード状断熱材厚50×100詰め

シーリング面への仕上塗料仕上げ等 行う ○行わない
 ブリッジ工法 ボンドブローカー張り 適用する
 エッジング材張り 適用する
 接着性試験 ※簡易接着性試験 引張接着性試験 (部位)

○とい [3.8.2、3]

○既存軒樋タテ樋及びドレン等の排水状況確認の上清掃
 ルーフドレン

種類	材種	施工箇所
・ろく屋根用 (・縦型 横型)		
・バルコニー用		
・バルコニー中継用		

防露材のホルムアルデヒド放散量
 ※「1(各章共通事項)、室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」による
 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 () 図示

○アルミニウム製笠木 [3.9.2、3]

種類 ・オープン形式 (・押出250形 押出300形 押出350形)
 ・シール形式 (板材折曲げ形)
 板材折曲げ形の場合 本体幅 (mm) 板厚 (※2.0mm)
 役物 適用する
 表面処理 種別 ・AB-1種又はBB-1種 BB-2
 着色 ・標準色 ・特注色

工法
 既存笠木等の撤去 行う (範囲 図示)
 下地補修の工法 () 図示
 板材折曲げ形の笠木の取付方法 () 図示

○防水保証期間
 期間は () 年とし、請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする

7 塗装改修工事

○材料

○地下調整

○錆止め塗料塗り

○塗装

屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3]
 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による
 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
 ・次の箇所を除き防火材料とする (箇所)

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1~7]
 ※塗替え面積の30% 図示
 既存錆止め塗料の鉛含有量調査 行う (箇所) ○行わない
 地下調整

下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修
	塗替え		
木部	※RB種		
鉄鋼面	※RB種		
亜鉛めっき鋼面	※RB種		
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※RB種		
モルタル面、プaster面	※RB種		・行う
コンクリート面 (DP以外)、ALCA [®] 材面	※RB種		・行う
コンクリート面 (DP)	・RB種 ･RC種		・行う
押出成形セメント板面	・RA種 ･RB種 ･RC種		・行う
せつこうボード面、その他ボード面	※RB種		

錆止め塗料塗りの種別 [7.4.2、3]

素地面	塗装の種類		塗料の種別		工程の種別	
	SOP (工程の種別は表7.4.3)	EP-G (工程の種別は表7.4.3)	DP (工程の種別は表7.4.4)	SOP (工程の種別は表7.4.5)	EP-G (工程の種別は表7.4.5)	DP (工程の種別は表7.4.6)
鉄鋼面	塗替え	新規見え掛り	塗替え	新製建具等	新製建具等	新製建具等
	新規見え掛り	新規見え隠れ	新製建具等	その他	その他	その他
	新製建具等	その他	その他	その他	その他	その他
亜鉛めっき鋼面	塗替え	新製建具等	塗替え	新製建具等	新製建具等	新製建具等
	新製建具等	その他	新製建具等	その他	新製建具等	新製建具等
	新製建具等	その他	新製建具等	その他	新製建具等	新製建具等

[7.5.2~7.12.2]

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部 (外部)	※B種	※A種
	木部 (内部)	※B種	※B種
	鉄鋼面	※B種	※B種
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種	※B種
○クリアラッカー塗り (CL)	木部	※A種	※B種
	鉄鋼面	※B種	※B種
○7x7x7樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	屋内のコンクリート面、モルタル面	※B種	※B種
	コンクリート面及び押出成形セメント板面		
○耐候性塗料塗り (DP)	塩ビタテ面 上塗り		
	塩ビタテ面 上塗り		
○つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	※B種	※A種 ･B種
	屋内の木部	※B種	※A種
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※B種	※A種 ･B種
	屋内の亜鉛めっき面	※B種	※A種 ･B種
○ウレタン樹脂系ニス塗り (UC)	コンクリート面等	※B種	※A種 ･B種
	コンクリート面等	※B種	※A種 ･B種
○ステン塗り	コンクリート面等	※B種	※A種 ･B種
	コンクリート面等	※B種	※A種 ･B種
○木材保護塗料塗り (WP)	コンクリート面等	※B種	※A種 ･B種
	コンクリート面等	※B種	※A種 ･B種

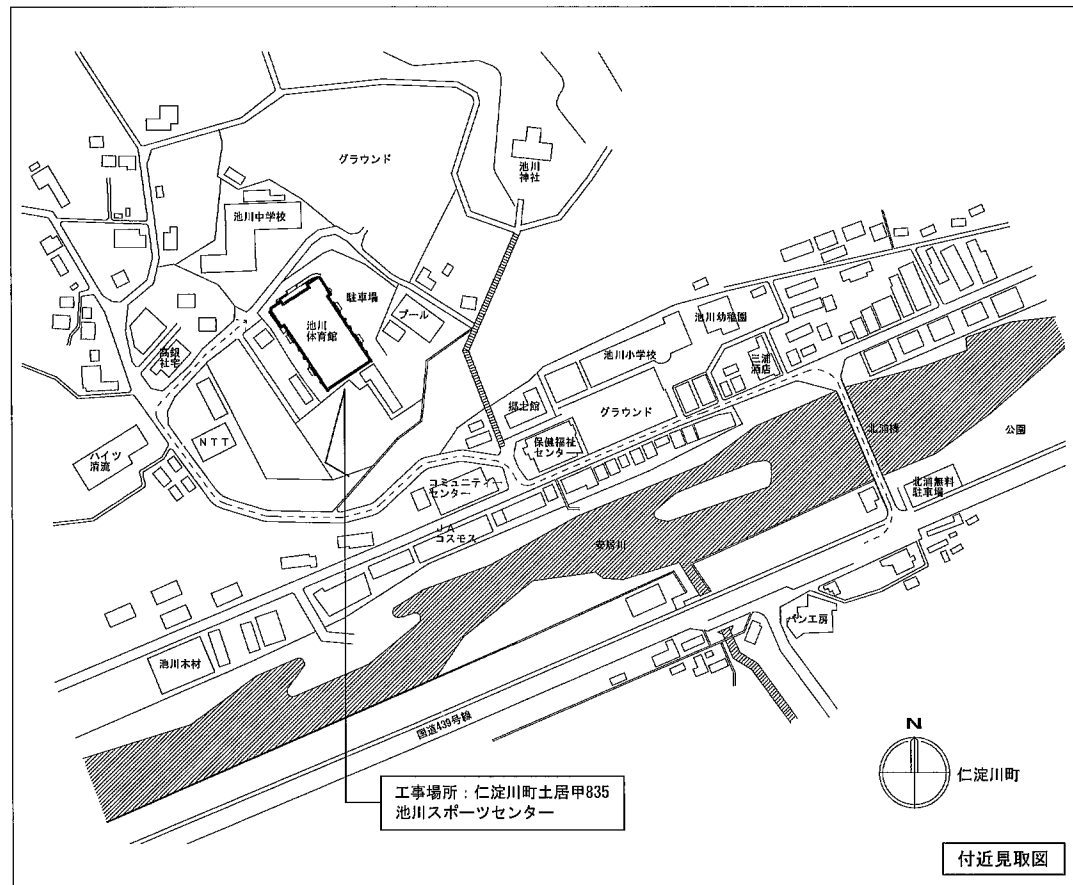
つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プaster面、せつこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のしり止め
 ※改修標準仕様書7.9.1の工程1の下塗りをしり止めシーラーとする ()
 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしり止め
 ※改修標準仕様書7.10.1の工程1の下塗りをしり止めシーラーとする ()
 高日射反射率塗料塗り [G]
 地下調整 (改修標準仕様書7.2.2) ･RA種 ･RB種 ･RC種

工程	塗料その他			塗付け量 (kg/㎡)
	規格番号	規格名称	等級	
塗料塗り	JIS K5675	反射率塗料	2種	塗料製造所の仕様による

クリアラッカー塗りA種の工程2 適用する (着色材: ･溶剤系 ･油性染料) 適用しない
 ウレタン樹脂系ニス塗りの工程1の適用 適用する 適用しない
 オイルステイン塗りの工程等 ()

工事概要

改修内容	
屋上防水	屋上水洗い清掃・下地調整 平層-塩ビシート防水 (S-M2機械的固定工法) 立上り-下地調整塗りの上 塩ビシート防水 (S-F2接着工法) 図示パラペット面台・庇天端等-下地調整塗りの上 ウレタン塗膜防水 (X-2工法)
点検口	点検口図示取替え
竪樋	通水清掃



Special note
Introductory remarks

□ 外部足場 (図示参考図) は監督職員及び施設管理者と充分協議の上現地の状況を確認して計画すること

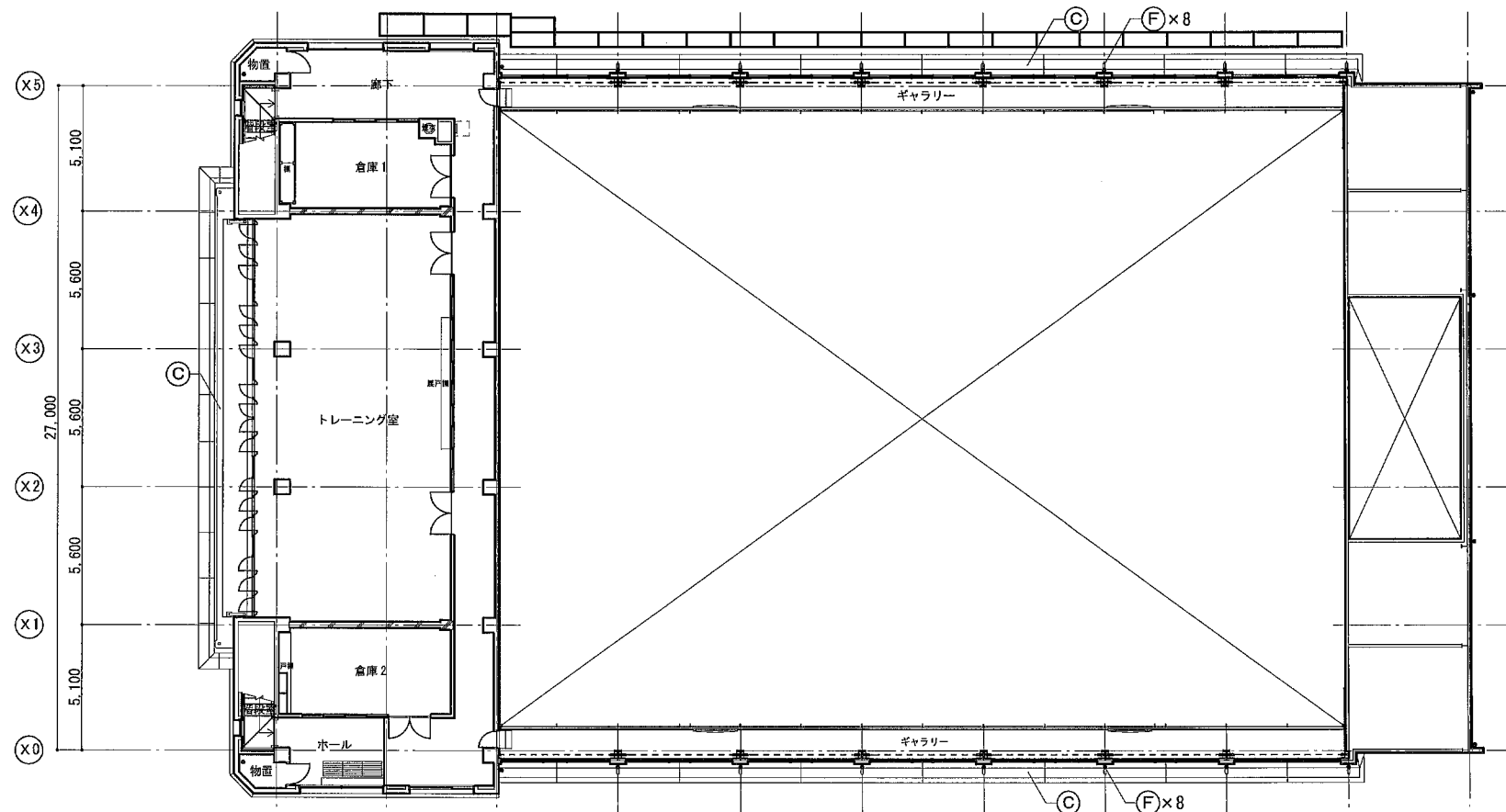
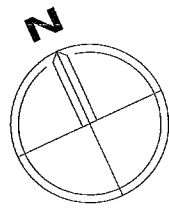


M A 設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士 登録第298514号 岩原英和

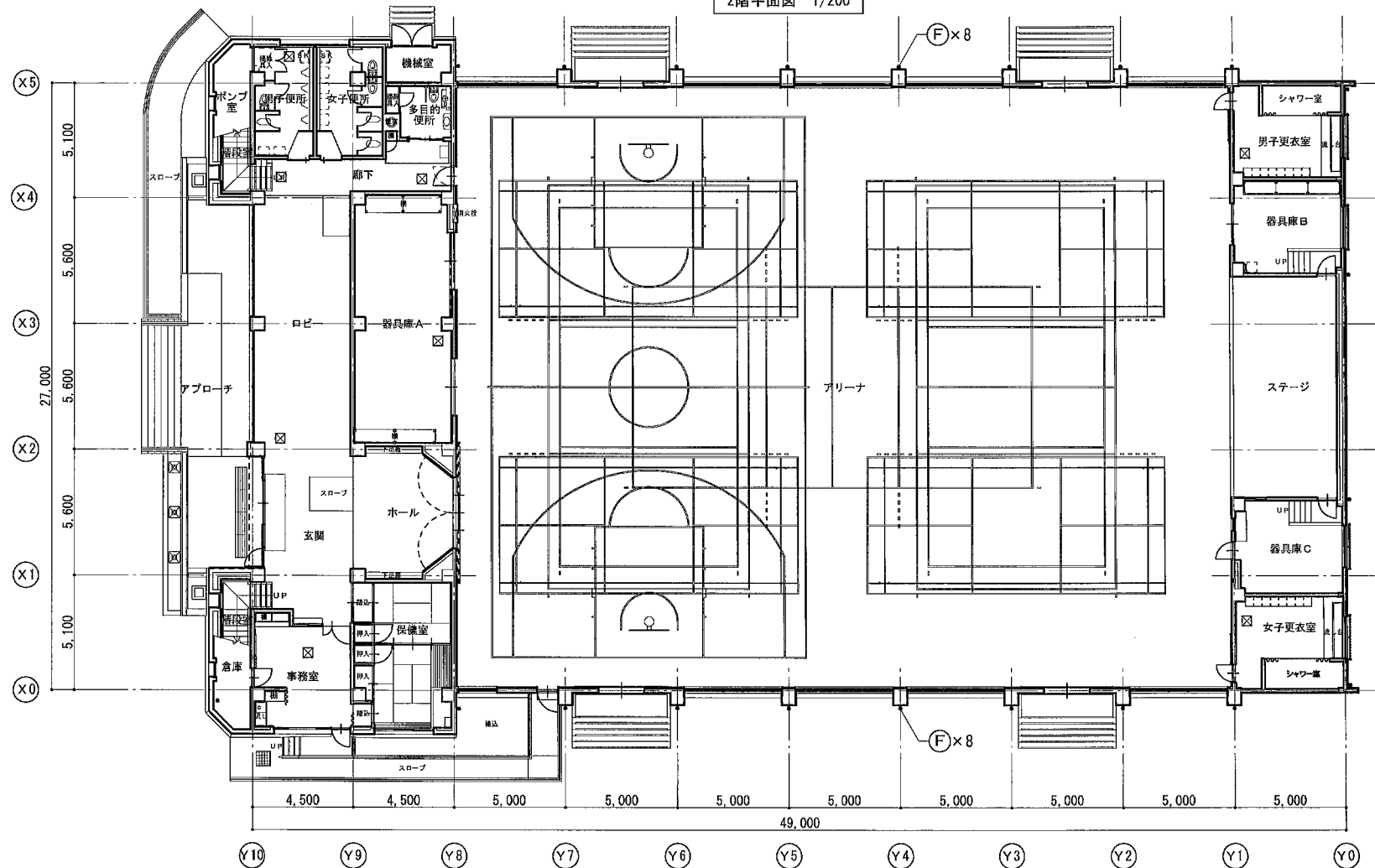
仁淀川町池川スポーツセンター池川体育館両極改修工事
date NO 2685 2026. 3 drawn by checked by 岩原英和

設計概要・付近見取図
配置図
scale 1/250

意匠
03



2階平面図 1/200



1階平面図 1/200

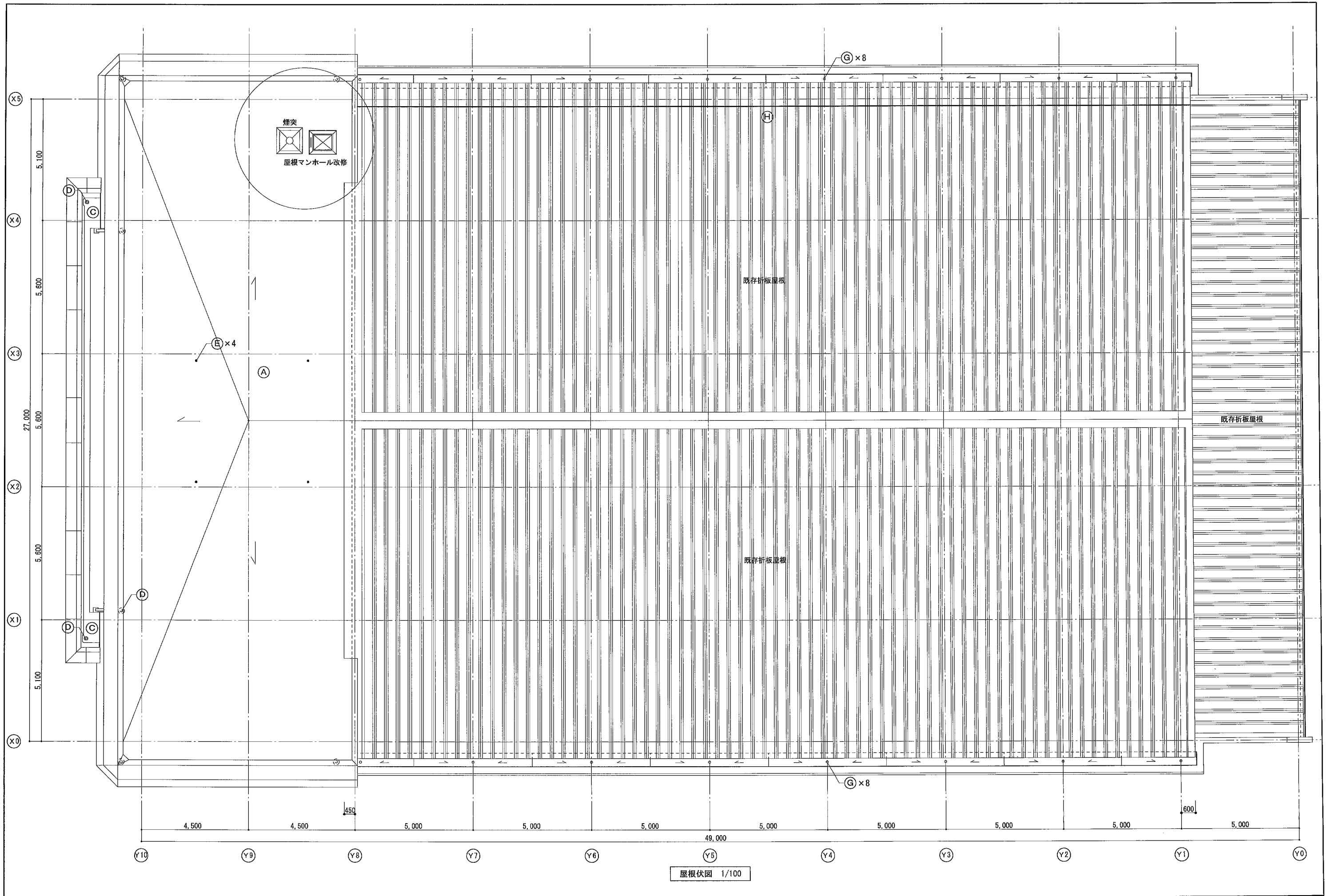
Special note
introductory remarks

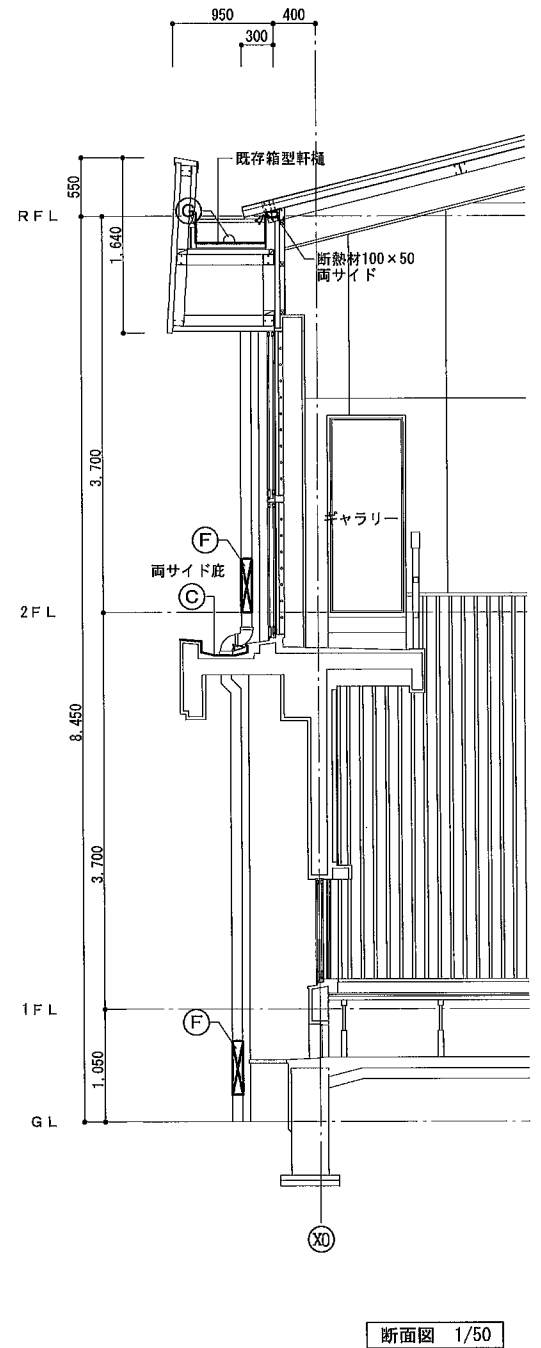
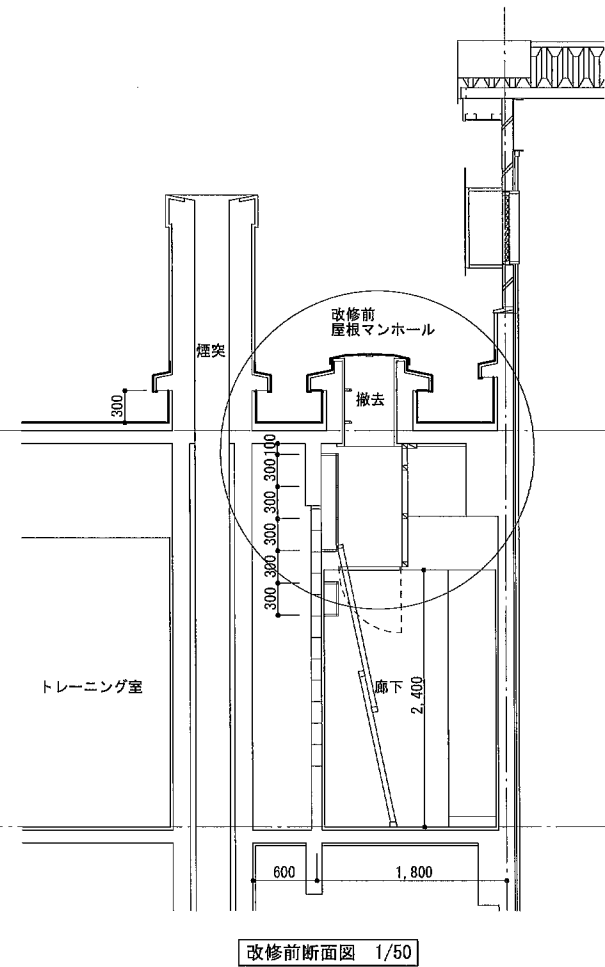
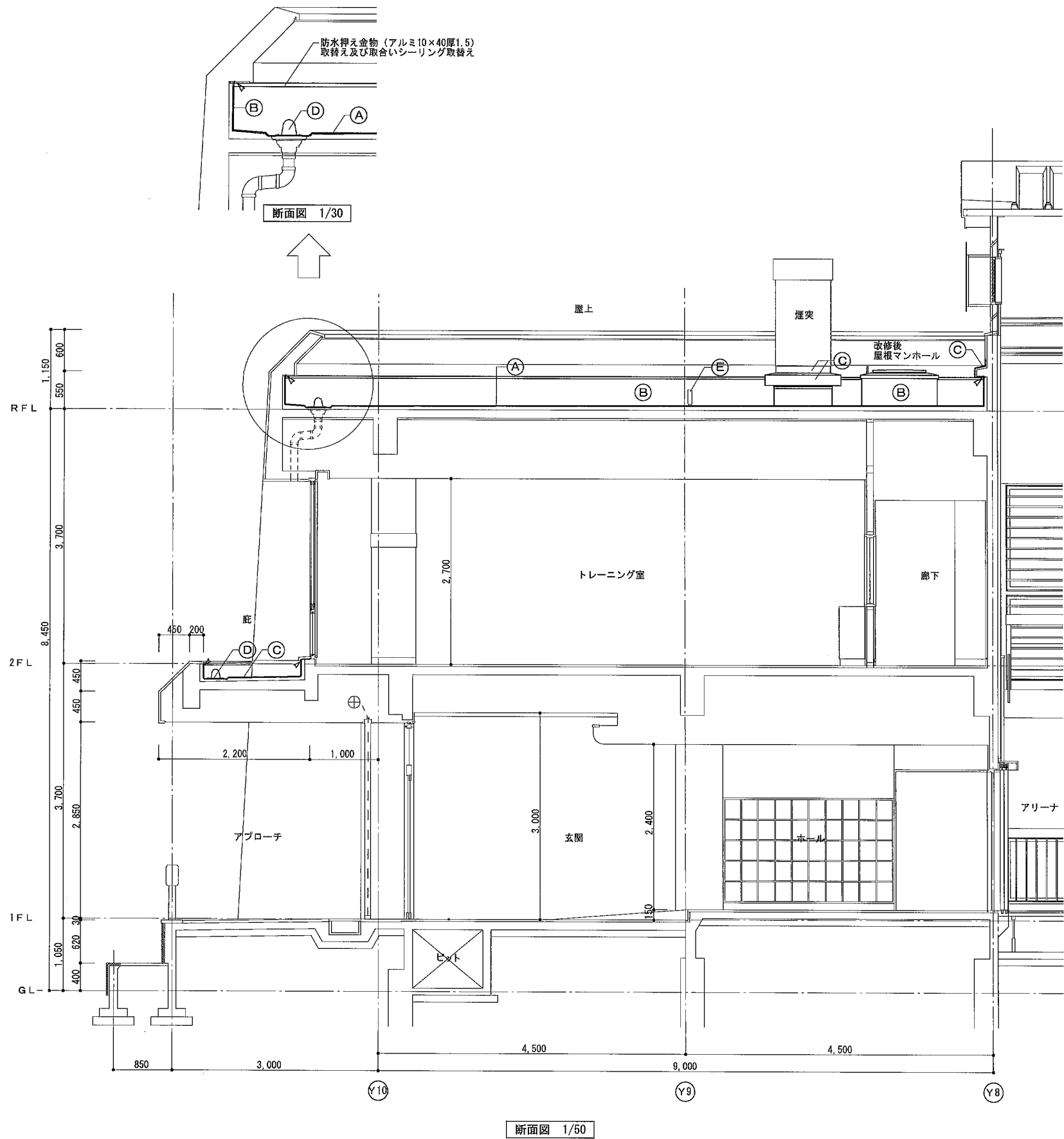


M A 設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士 登録第298514号 岩原英和

仁淀川町池川スポーツセンター池川体育館雨樋改修工事
date NO. 2685 2026. 3 drawn by checked by 岩原英和

平面図
scale 1/200
意匠
04





防水改修	
(A)	既存平場・加硫ゴムシート防水厚1.2 下地調整 (彫れ・剥がれ処理) 改修-塩ビシート防水厚1.5 (S-M2工法)
(B)	既存立上り・加硫ゴムシート防水接着厚1.2撤去 改修-下地調整塗後 塩ビシート防水厚1.5 (S-F2工法) 防水押え金物 (アルミ10x40厚1.5) 取替え及び取合いシーリング15x10取替え
(C)	平場・立上り下地調整塗後ウレタン塗膜防水 (X-2工法)
(D)	鋳鉄製ルーフトレインキャップを改修用φ100用に取替え
(E)	ステンレス脱気筒新設 (位置現場調整)
(F)	タテ樋 (硬質塩ビ管φ100) 図示L500程度撤去 樋内部水洗い清掃後接続ソケット等で復旧 DP塗装
(G)	軒樋内自在ドレインに、ステンレス防塵網取付
(H)	既存軒樋内の電気配線を折断面に専用金具で再固定φ90
特記事項	
* 屋上・庇・軒樋・タテ樋内は水洗い清掃 (水圧10~15Mpa程度)	
* 塩ビシート取付専用被覆鋼板 W50	
* 各防水材料はメーカーの工法仕様により適切に施工すること	
* 屋上防水改修面の既存配管は工事に支障ない程度に移動さすこと	

Special note
introductory remarks

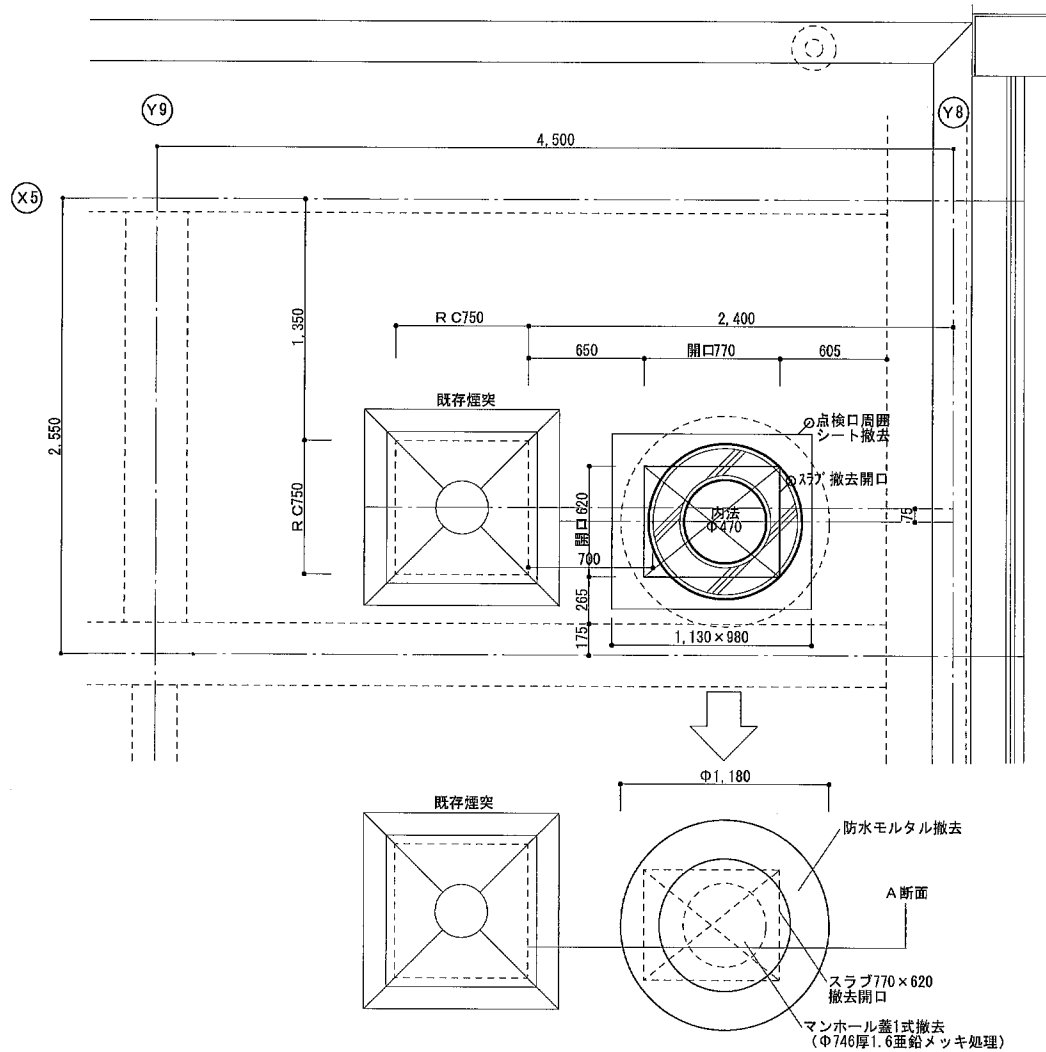


M A 設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士 登録第298514号 岩原英和

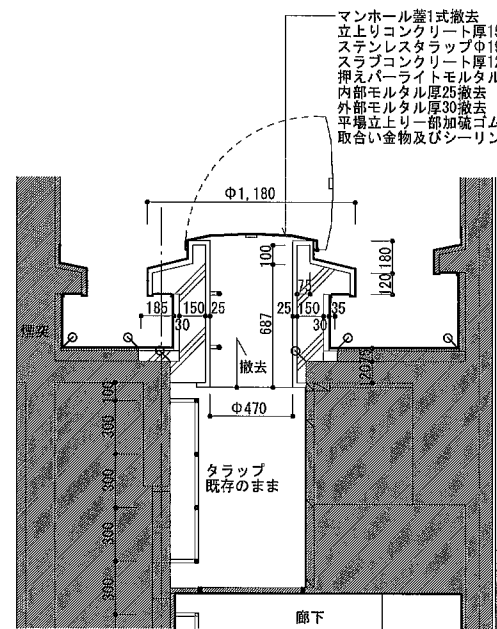
仁淀川町池川スポーツセンター池川体育館雨樋改修工事
date NO 2685 2026. 3 drawn by checked by 岩原英和

断面図
scale 1/50.30

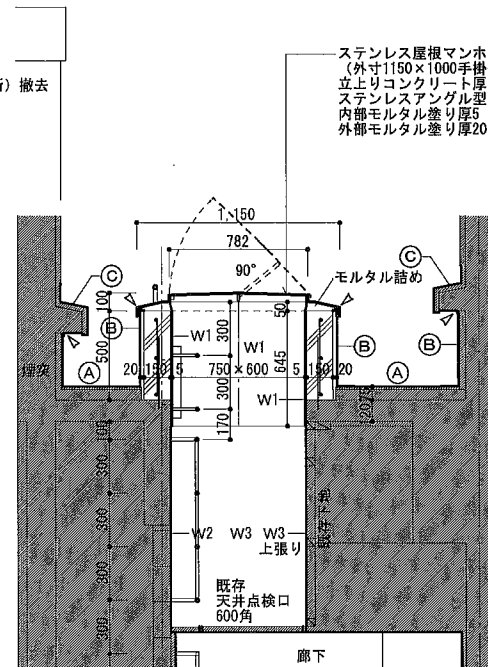
意匠
06



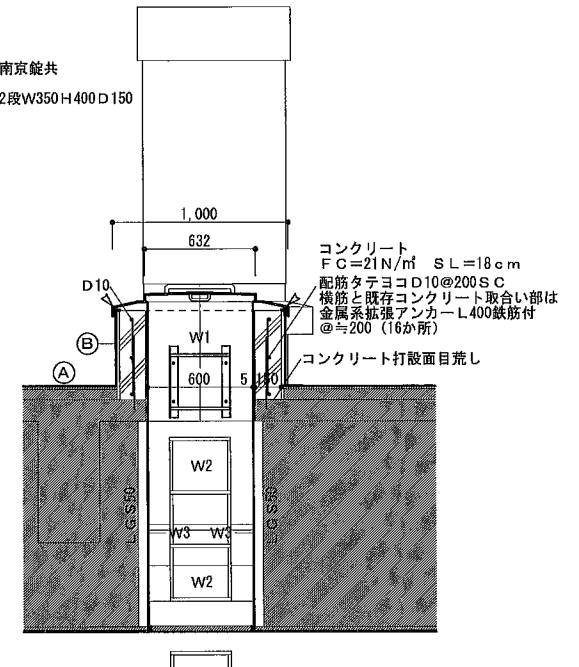
改修前点検口平面図 1/30



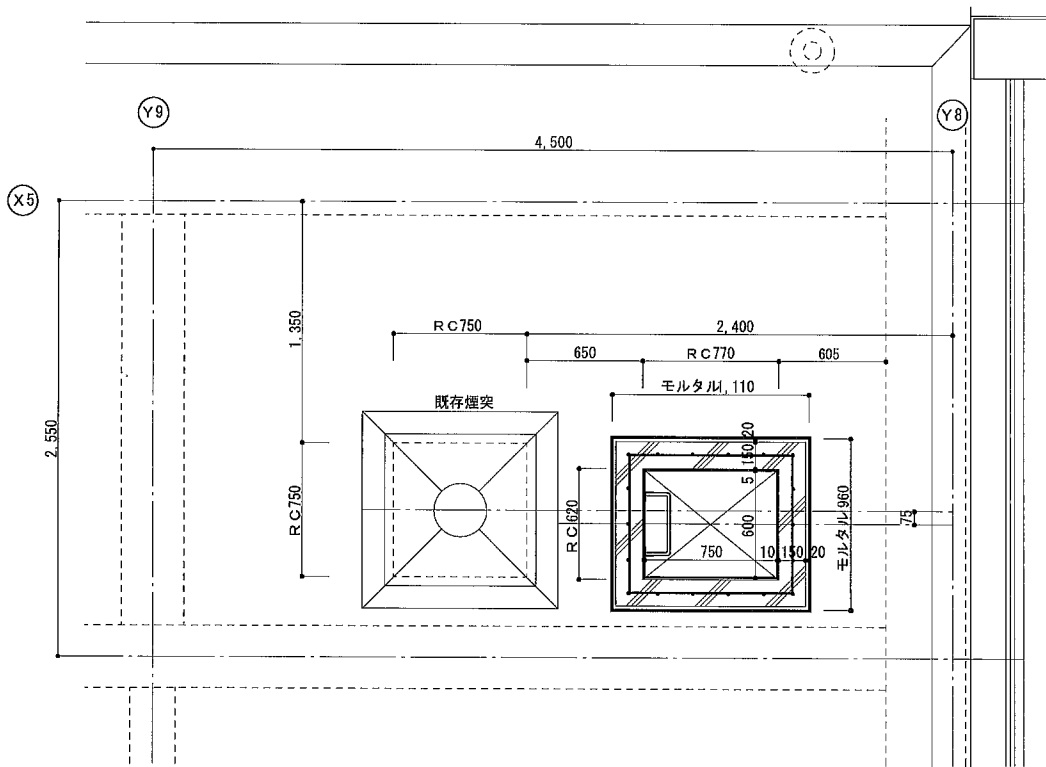
改修前点検口A断面詳細図 1/30



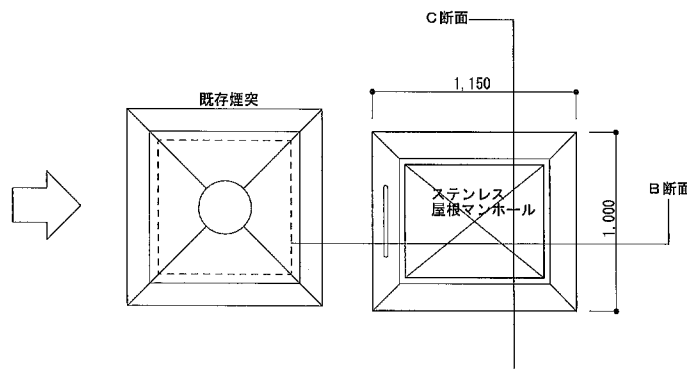
改修後点検口B断面詳細図 1/30



改修後点検口C断面詳細図 1/30



改修後点検口平面図 1/30



防水改修	
(A)	既存平場-加硫ゴムシート防水厚1.2 下地調整 (膨れ・剥がれ処理)
	改修-塩ビシート防水厚1.5 (S-M2工法)
(B)	既存立上り-加硫ゴムシート防水接着厚1.2撤去
	改修-下地調整後 塩ビシート防水厚1.5 (S-F2工法)
	防水押え金物 (アルミ10×40厚1.5) 取替え及び取合いシーリング15×10取替え
(C)	平場・立上り-下地調整後ウレタン塗膜防水 (X-2工法)
(D)	鋳鉄製ルーフレインキャップを改修用φ100用に取替え
(E)	ステンレス脱気筒新設 (位置現場調整)
(F)	タテ樋 (標準塩ビ管φ100) 図示L500程度撤去
	樋内部水洗い清掃後接続ソケット等で復旧 DP塗替え
(G)	軒樋内自在ドレインに、ステンレス防塵網取付
(H)	既存軒樋内の電気配線を折版面に専用金具で再固定φ900
特記事項	
*	屋上・庇・軒樋・タテ樋内は水洗い清掃 (水圧10~15Mpa程度)
*	塩ビシート取付専用被覆鋼板 W50
*	各防水材料はメーカーの工法仕様により適切に施工すること
*	屋上防水改修面の既存配管は工事に支障ない程度に移動させること
点検口廻り内部改修	
W1	EP-G塗り (新設モルタル面)
W2	EP-G塗り (既存コンクリート及びCB面)
W3	EP-G塗り (3面石ラワン合板厚5.5面+サイドLGS50下地)

Special note
introductory remarks

- 改修部の既存のままの断面部分を示す
- 撤去及び新設鉄筋コンクリートを示す
- 図示 〆 カッター入れを示す
- 図示 △ 特記なき限りシーリングは15×10 (MS-2)

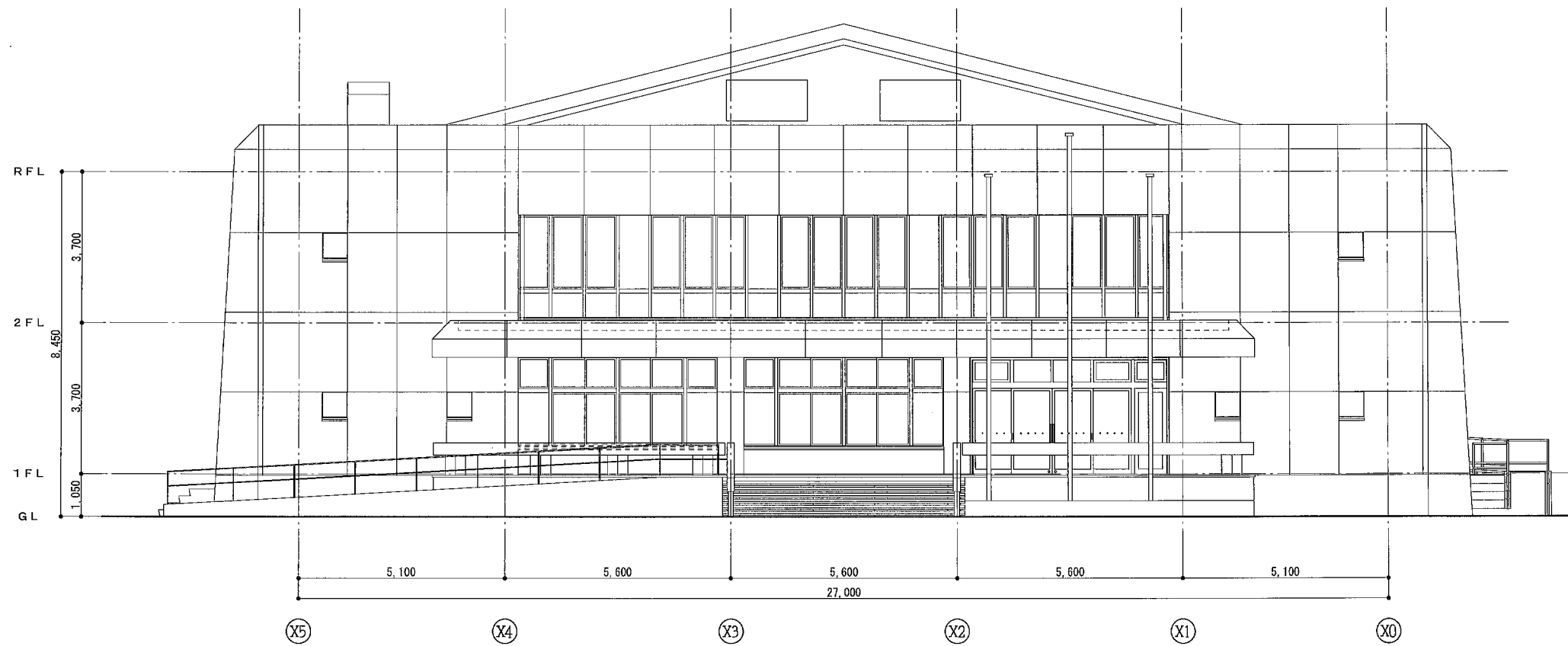


M A 設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士 登録第298514号 岩原英和

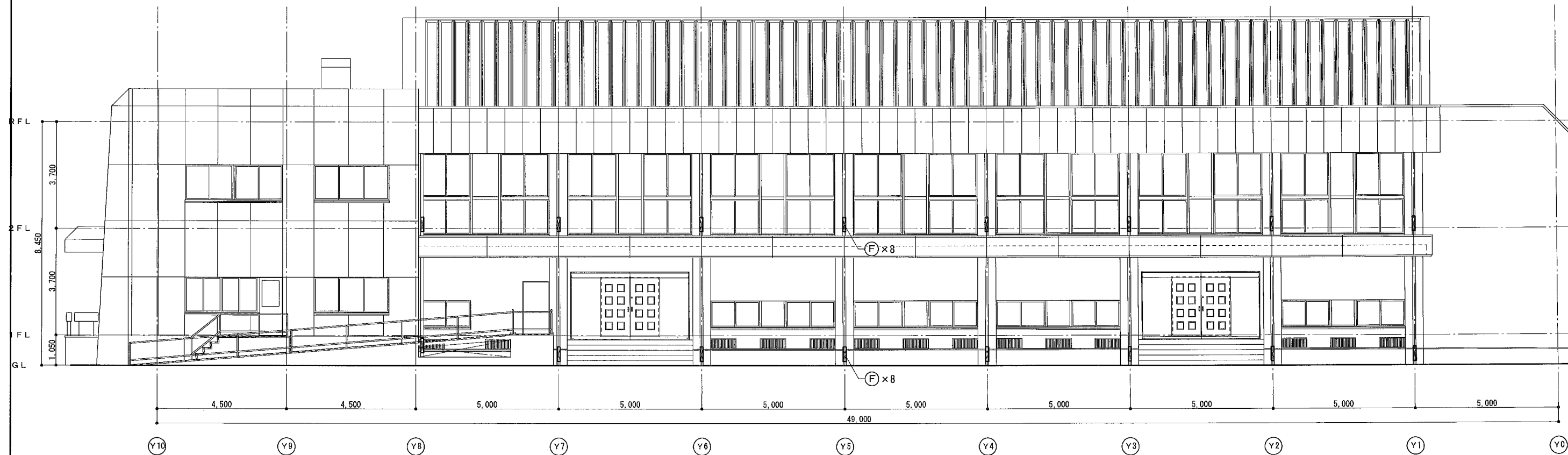
仁淀川町池川スポーツセンター池川体育館雨樋改修工事
date NO 2685 2026-3 drawn by 岩原英和 checked by 岩原英和

屋上点検口改修面
scale 1/30

意匠
07



西面立面图 1/100



南面立面图 1/100

Special note
introductory remarks

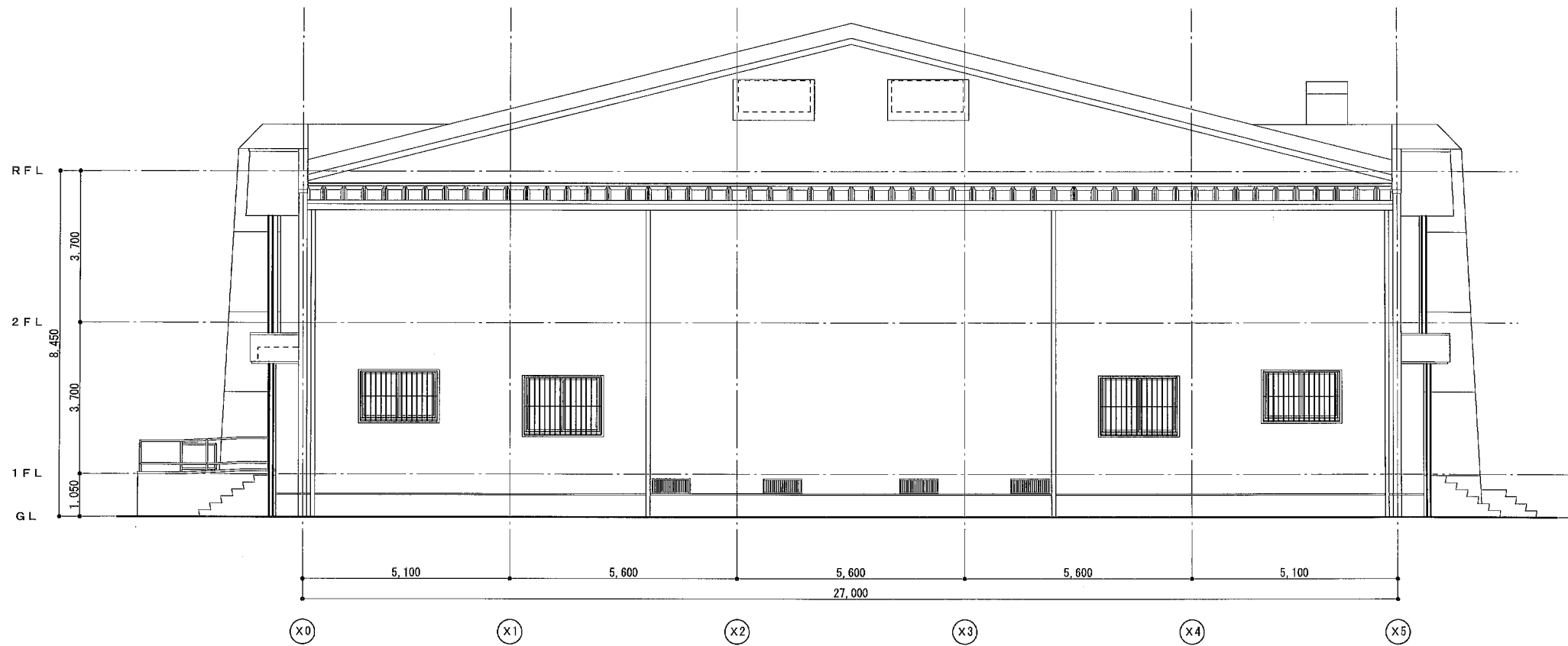


M A 設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士 登録第298514号 岩原英和

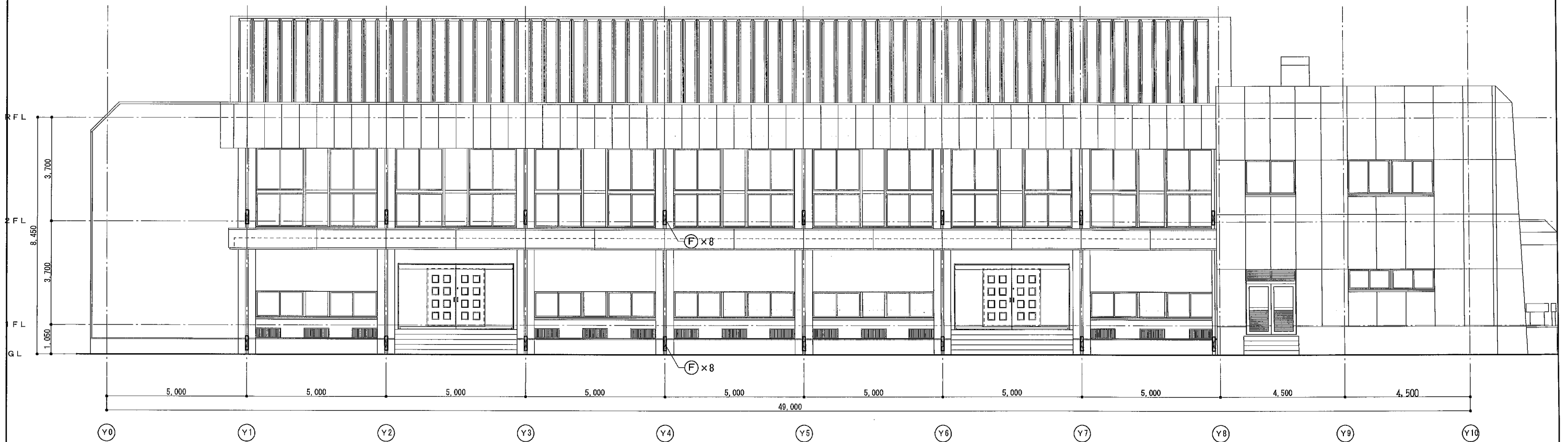
仁淀川町池川スポーツセンター池川体育館兩極改修工事
date NO 2685 2026. 3 drawn by checked by 岩原英和

立面图 (1)
scale 1/100

意匠
08



東面立面图 1/100



北面立面图 1/100

Special note
introductory remarks



M A 設計事務所
MODERN ARCHITECTURAL DESIGNERS OFFICE
1級建築士 登録第298514号 岩原英和

仁淀川町池川スポーツセンター池川体育館雨樋改修工事
date NO. 2685 3 drawn by checked by
2026. 3 岩原英和

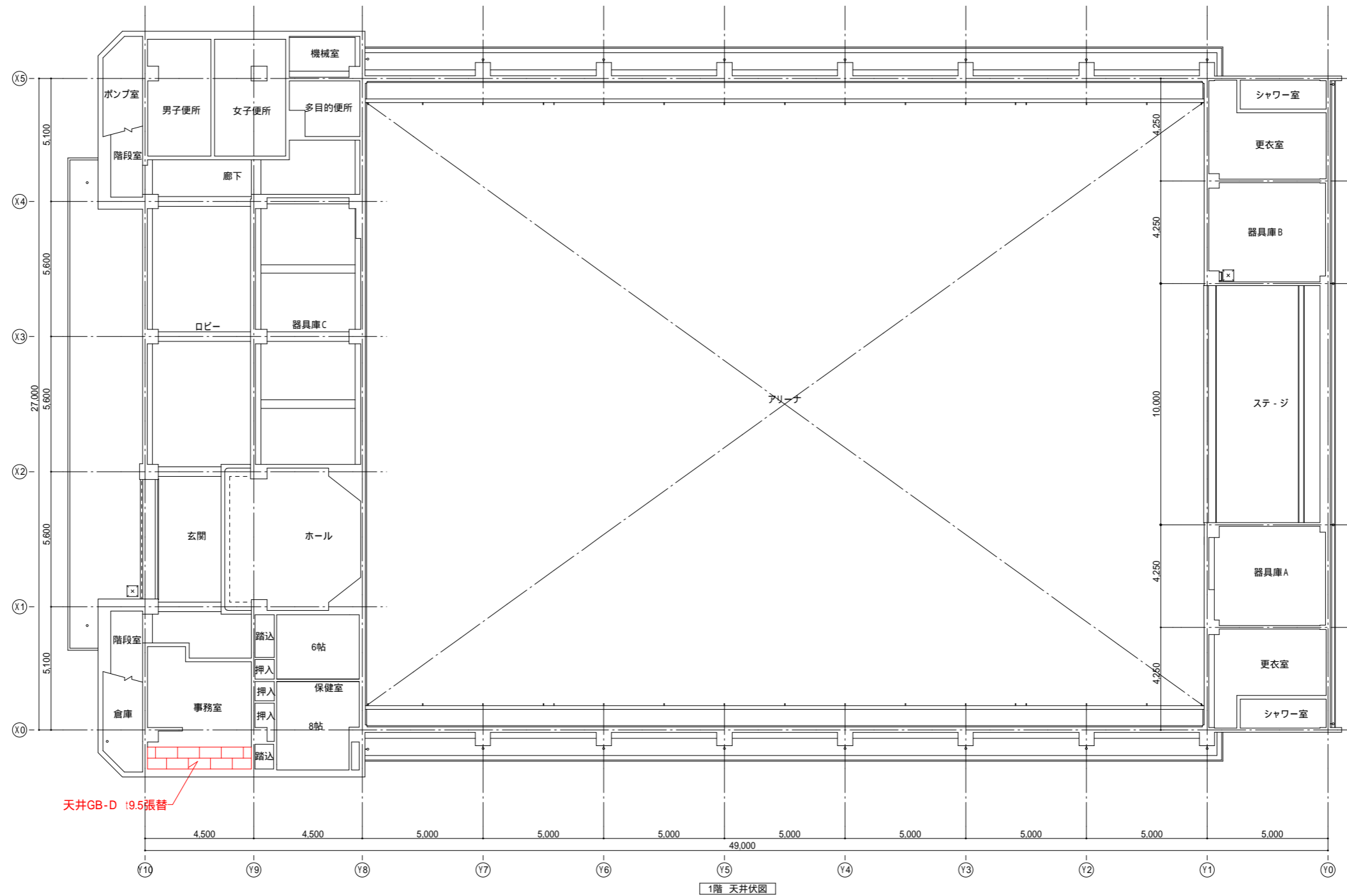
立面图 (1)

scale 1/100

意匠

09

B 建築工事（事務室・2階ホール等）

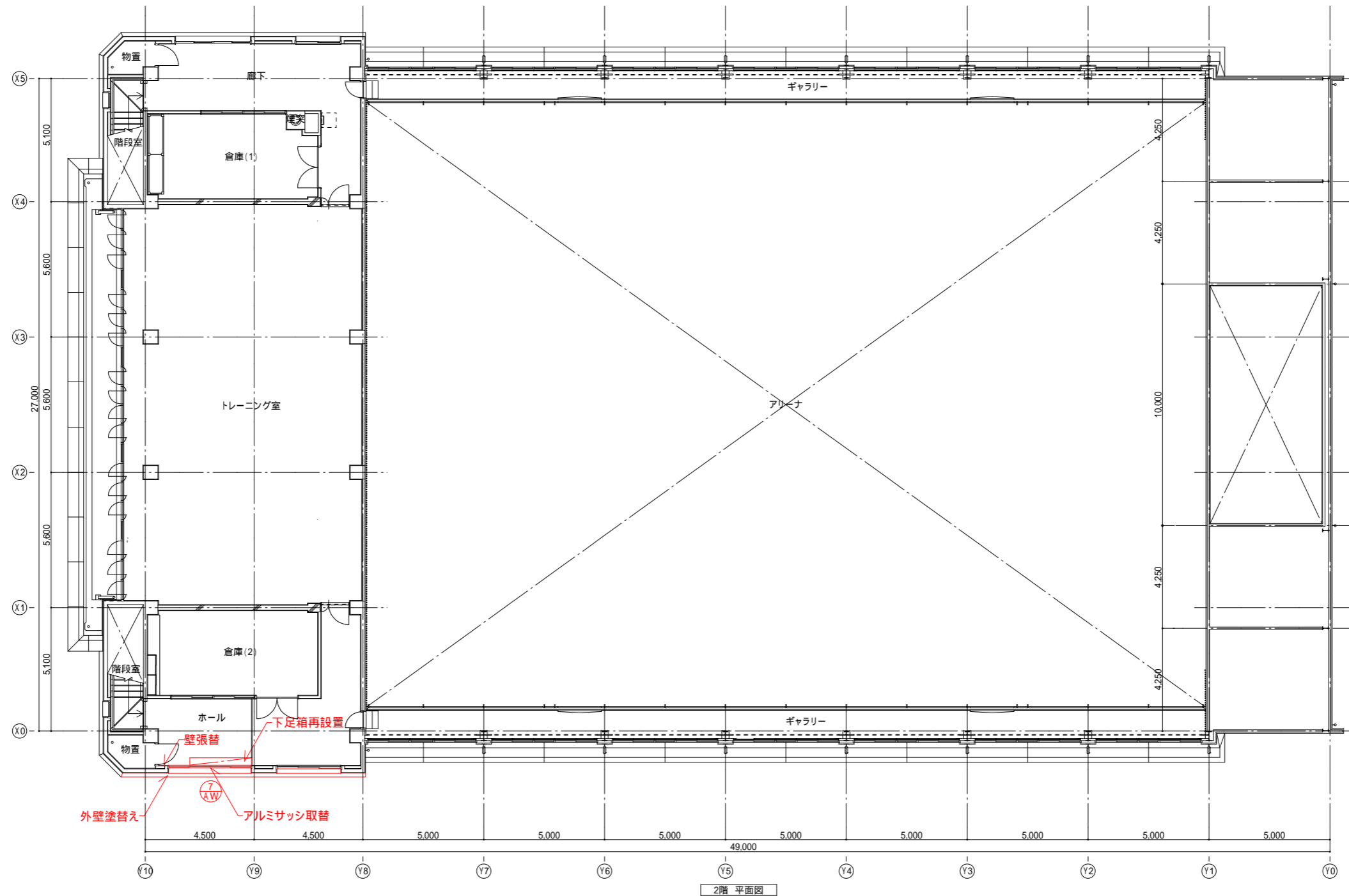


天井GB-D :9.5張替

1階 天井伏図

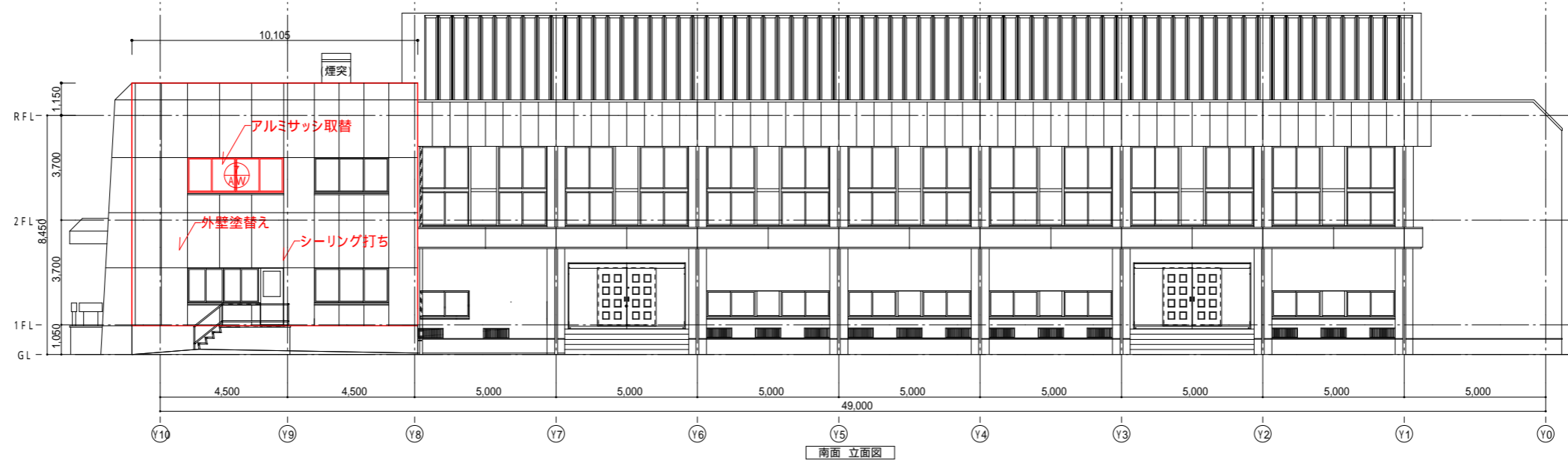


設計	設計番号	承認			工事名称	縮尺	図面
		承認	担当	製図	池川体育館 事務室・2Fホール修繕工事	S=1:200 (A-3)	
					図面名称	年月日	番号
					1階 天井伏図	2026	A-02



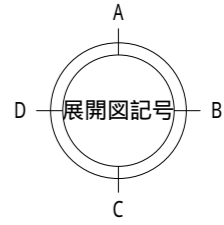
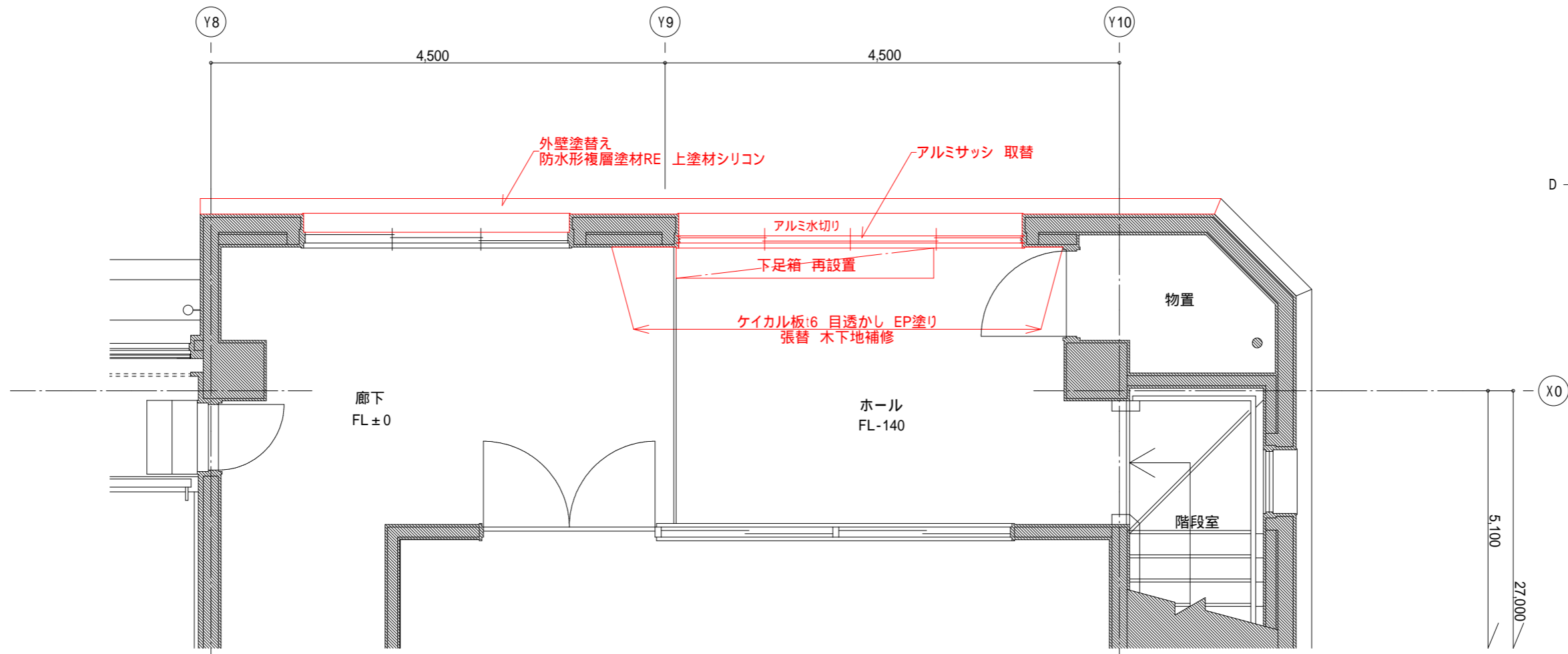
2階 平面図

設計	設計番号	工事名称			縮尺	図面
		池川体育館 事務室・2Fホール修繕工事			S=1:200 (A-3)	
	承認	担当	製図	図面名称	年月日	番号
				2階 平面図	2026	A-03

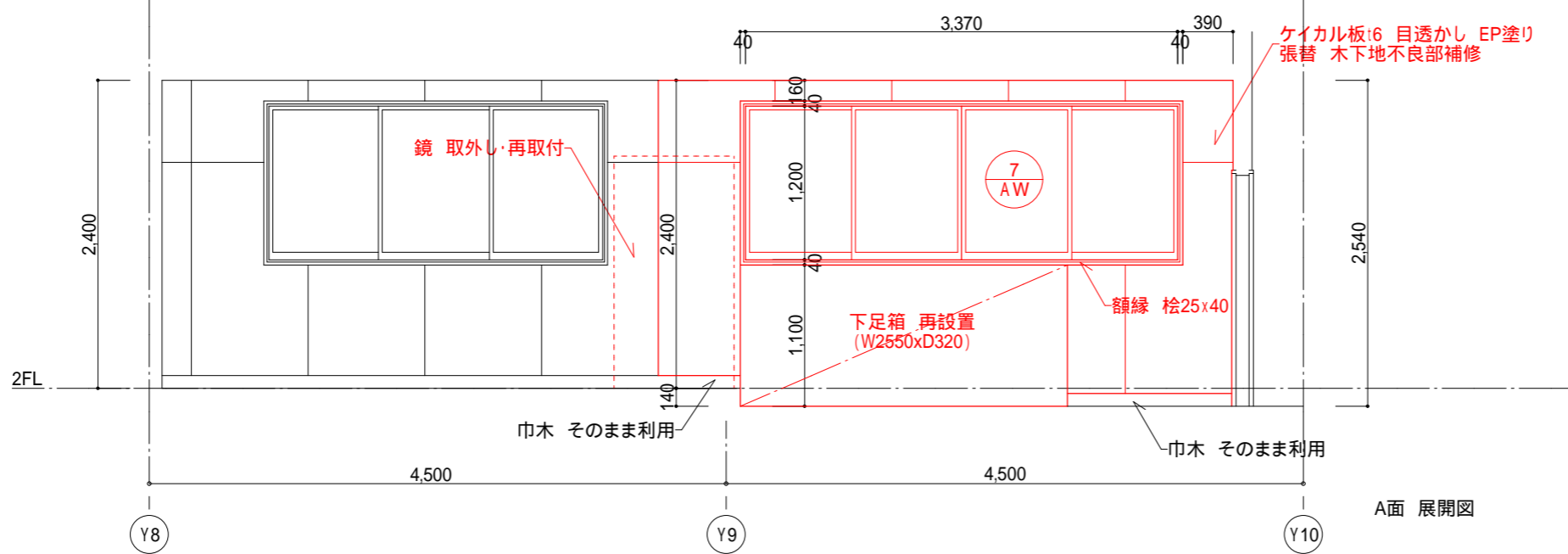


番号 記号	名称	7 AW	アルミ 4枚引違窓	1/50	7 AW	アルミ 4枚引違窓 見込み70	1/50	
図 寸 法	修繕前 				修繕後 			
	ガラス	前回 = 線入透明硝子厚6.8を網入透明硝子厚6.8に取替				網入透明硝子厚6.8		
金物					可動網戸、クレセント、アングルピース、アルミ水切り			
数量	場所	1	2階ホール	1	2階ホール			

設計	承認	担当	製図	工事名称	縮尺	図面
				池川体育館 事務室・2Fホール修繕工事	S=1:200, 50(A-3)	
				図面名称	年月日	番号
				立面図、建具図	2026	A-04



平面詳細図



A面 展開図

設計	設計番号	工事名称			縮尺	図面
	承認	担当	製図	池川体育館 事務室・2Fホール修繕工事	S=1:50 (A-3)	番号
				図面名称	年月日	図面
				平面詳細図、展開図	2026	A-05